

公表日

2026年1月20日

事業所名

こぱんはうすさくら 塚本駅前教室

保護者等数(児童数) 3名 回収数 3件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2			1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		1	1	入所間もないため未実施	定期的な実施をおこなっていく
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		1	1	入所間もないため未実施	定期的な実施をおこなっていく
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	1	入所間もないため未実施	イベント等で交流できる場の設定をおこなっていく
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1		

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		1			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2		1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2		1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1		基本的に楽しいと言っているがたまに行きたくないという時がある	来所が楽しみになる支援内容や関りを意識していく	
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2026年1月20日

事業所名

こばんはうすさくら 塚本駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動スペースを区切りを作り活動する場所を分けている。	死角になってしまふ場所もあるため改善していきたい
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		人員配置は利用児童に合わせて配置を考えている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		児童の目線や視覚的にわかりやすいよう配置を工夫している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		掃除が行き届いていない時もあるため受け入れ前にチェックをおこなう
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		必要に応じて対応できるように別室等準備はできている。	利用者が増えるとスペースの確保が今後検討が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼や会議等で共有をおこない都度検討をおこなっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	6			積極的に研修に参加できるようにしていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフ全員での会議などで情報を共有しつつ作成している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		作成し保護者同意の後は、周知徹底をおこなっている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の活動の様子や送迎時に保護者に様子の聞き取りをおこなっている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		作成時、個々に応じた内容を盛り込み作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月会議にて計画の作成を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日替りでの内容の変更や、当日の変更など柔軟に対応している。	かたよりがでないようにしていきたい
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼にて前日の様子の共有や当日の注意点等の確認をおこなっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		書面に記録を残しつつ退社前に共有して帰宅するようにしている	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者をはじめ現場で関りの深いスタッフも同席し情報共有をおこなっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		お迎え時に様子の聞き取りや、事業所での様子などの共有をおこなっている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		部会に参加し横のつながりを大切にしている	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時丁寧に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		事業所内のイベントの設定などをおこない交流の場を設けていく	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きロッカーにて保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて理解しやす方法に変換したり文字におこしたりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		開所して間もないため、今後機会を増やしていきたい

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時にしっかりと確認し全体共有をして徹底している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーは全スタッフがしっかりと理解して支援に入っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		再発防止のため全職員に周知し共通認識をもって支援に取り組むようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			